

今後行ってほしい企画、講演などありましたらお書きください。

- 運転が不可と判断された場合、可になるように医療者ができる支援などが知りたい。
- 当事者による講演。
- 免許センターや教習所の方の話を聞きたいです。
- 評価方法や評価1つ1つの点数について。
- 宮城県では、障害者に対しては、運転に必要な筋力（ハンドル回転力、ブレーキ踏力、アクセル踏力など）を測定するような制度を運用しているとのこと。全国の現状はどうか、そのような情報報告もいただきたい。
- 本日は左 USN 中心の注意障害の講演が多くとても参考になった。その他の高次脳障害（失語症、失行）での、症例があれば聞いてみたい。
- 自家用車がなくとも暮らせる社会の構築に向けて・・・など。
- 今回と同様に警察の方や免許センターの方のご講演をまた聞きたいと思いました。
- 運転者や家族の話。
- 運転不可という病院判断になった場合、本人や家族へどのように説明していくか等の成功した症例やケース検討会の様なものがあつたらぜひ参加したいとおもいました。
- シュミレーターの実演会
- 症例検討会
- 免許センターの方との高次脳機能の意見交換、研修
- 工学的な技術支援のニーズ（行動分析、支援制御など）の要望等をディスカッションする機会があれば参加させて頂きたい。
- 右マヒが残存している症例の支援（車の改修ある・なしどちらも）。
- 総合病院、リハビリ病院においては相談件数も多く、関心の高い内容と考えるが、在宅でのかかりつけ医及び在院日数の短縮が求められる急性期病院では高次脳機能障害の詳細な評価などはほとんど実施されていないように思われる。特に在宅での対応が後手に回っている印象が強いため、医師会などの研修とマッチングが出来たらいいのでは、、と感じた。
- 急性期病棟・病院でのとりくみを知りたい。
- 障害のある方の事故事例や訴訟や裁判など。
- シュミレーターなどなくてもできるリハビリテーションについて。
- 実際に病院がどうしていけばいいのか。
- マニュアルの作成・パンフレットの配布・検査の基準などを紹介してもらえると。
- 海外の自動車運転アセスメント・フィットネスの現状。
- 再開に対するリハビリテーション。
- 先進的な取り組みを行っている HP（伊豆リハ？）など話を聞いてみたいです。
- 今回の研究会のように免許センターの方や警察の方から、現状など講演していただきたい。

- 病院などを退院されている脳血管障害の患者さんや家族に対して、交通法の改正について説明して頂ける講演などがあるといい。
- 精神患者の運転免許取得に関するもの。どのような検査が行われ、どのような評価基準があるのか私は知りませんので。→わたし若者の自立支援を行う立場にあります。自立の過程に自動車運転免許は必須であり、対象者に皆勧めています。